

Training Match Report

KOMAZAWA UNIV

FC TOKYO

2006年9月13日 FC東京小平グラウンド

駒澤大学2 - 4 FC東京

得点 / (駒) 14分高崎、17分菊地

(東) 25分石川、38分ルーカス

51分馬場、55分ワシントン

メンバー

駒澤大学

GK三栗寛士(→46分山内達夫)

DF塚本泰史、廣井友信、阿部琢久哉(→46分伊藤 龍)、筑城和人

MF菊地光将、竹内 優(→69分三島康平)、東平大佑(→46分島田祐輝→81分椿原徹也)、小林竜樹(→54分巻 佑樹)

FW原 一樹、高崎寛之(→81分柳崎祥兵)

FC東京

GK土肥洋一(→46分塩田仁史)

DF徳永悠平(→46分宮沢正史)、ジャン(→46分三浦文丈)、藤山竜仁(→46分中澤聡太)、伊野波雅彦(→46分池上礼一)

MF今野泰幸(→46分阿部吉朗)、栗沢僚一(→46分浅利 悟)、石川直宏(→46分リチェーリ→49分森村昂太)、梶山陽平(→46分赤嶺真吾)、戸田光洋(→30分馬場豊太)

FWルーカス(→46分ワシントン)

▶筑城と石川のマッチアップ。サイドで激しい攻防を見せた



◀後半、最前線に近い位置で出場した1年の三島。普段と違うポジションでのプレーとなったものの、選手権での経験を活かして攻守に奔走した

(斉藤卓也撮影)



リーグ戦へつながる練習試合

逆転負けも随所に収穫を得る

◀ジャンと競り合う高崎。攻撃の起点となり、先制点を上げた

収穫に満ちた練習試合

「FC東京の横パスは短いので1本でやらないので怖くないが縦のボールにつければいいので勉強になる」とあつさり語ってくれた秋田監督。数字的には負けたものの、収穫は大きかった。大学サッカーで繋ぐのは早稲田法政、筑波、国士館などのチーム。リーグ戦では山場になりそうな相手であり、最高の予行演習ができたのではないだろうか。試合開始直後は駒大の持ち味である前からの積極的なプレスで相手のパスをカットする事ができたものの、時間が経つにつれて短い横パスを執拗に繋がれてそこから決定的なパスに持って行かれる形が幾度と無く繰り返された。

駒大と明らかに違うところがあつた。「決定力」。絶対チャンスを見逃さない。何とか活かそうとする姿勢が外から見てもかなり感じられた。難しい課題だが戦術とかよりも大切なことではないだろうか。

しかし駒大も14分・17分とリズムに乗った攻撃で2点を先取した。3分で2点を取っている。どちらとも高崎、菊地の頭で押し込んだの「ゴール」。両者の高さには通用していた。「高崎がおもしろい存在。ヘディングの跳ぶタイミングが巧い」(FC東京倉又寿雄監督)と空中戦に関しての評価が高かった。

さらにルーキーの三島が後半途中から出場。自身の起用を高さで活かして空中戦を勝って流れをつくるという意味であったと思う。と語った三島。夏の練習試合では主にセンターバックをこなしていたにも関わらず「自分でもこんな前で作られるとは思ってなかった」と語るようにトップ下やトップの位置での出場。高校時代は守備的なポジションが多かったと話していたが「与えられたポジションでちゃんとできないといけないので」成長を感じさせるコメントを残してくれた。本当に収穫の多い練習試合だった。(永田博義)

発行人 永田博義
スタッフ 香取真人
斉藤卓也 林 雄大
塩田英美 土屋春佳
中野成博 星 宏樹

～お知らせ～

FORZA駒澤BOXを駒澤大学駒澤校舎内の食堂にあるアイスクリーム売り場、学生部に設置しています。毎週金曜日に置いているので、ご自由にお持ちください。

FORZA駒澤は毎週金曜に発行！お便り、感想などはこちらまで
〒154-8525 東京都世田谷区駒澤1-23-1
駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Eメール
forzakawazawa@hotmail.com
TEL/FAX 03 (3418) 9556 発行人 永田博義

次節は順天堂大学と対戦！

<場所> 高崎市菅浜川競技場

<日程> 9月30日(土) 14:10

競技場へのアクセス

JR 高崎線「壘葉」下車、壘葉行きバスに乗車「高崎経済大学付属高校前」下車、徒歩3分。